整理番号：202381

【研究概要】

本研究は、抑うつ症状を有する患者の音声データを用いて、音声解析により抑うつ重症度を客観的に評価する指標の構築を目的とする。精神症状は自覚されにくく、受診遅延が生じやすいことから、非侵襲的かつ簡便な評価手法の確立が求められている。本研究により音声バイオマーカーが開発・社会実装されれば、臨床現場における診断補助や治療効果の客観的評価、症状変化の継続的把握が可能となり、精神科医療の質の向上に寄与すると考えられる。